



水沢VLBI観測所
川口則幸



2010年度VERA共同利用の方針

基本方針

- 従来通りの共同利用方針
 - 2.2 GHz、4.3 GHz帯 400時間
 - DIR-2000系での観測が主体
 - DIR-1000系ではリスクあり
- 6.7 GHz帯の共同利用の準備
 - 校正系の整備
 - IF系の自動切り替え系の整備
 - フロントエンド受信機の冷却

DIR-1000系観測のリスク

- 三鷹FX相関器の老朽化
 - 制御計算機（DS）の代替え機調達が困難
 - 今年度にDSの機能停止が発生した
- FX代替えソフト相関器の機能制約
 - 256Mの処理機能が現在ない
 - 開発・整備は技術的に可能ではあるが...
- DIR-1000レコーダの老朽化
 - 1987年に開発して以来23年が経過
 - 国土地理院より提供されたレコーダはあるが....

共同利用の公募

- 22GHz、43GHz
- 2B、位相補償観測可能
- 全体 400時間
- 期間： 2009年12月—2010年11月
- VERA保守 6, 7月 ← 変更の可能性があります。
- 7—8月、昼間の観測の質はたいへん悪い
- 野辺山・鹿島(100時間)
 - 野辺山は、2—5月
 - 鹿島は、8-10月が保守(TBD)

審査の方法

- 審査は3名（星、星形成、AGN、銀河）
 - 今回は、日本人のみ
- 最終的にはプログラム小委員会で採択・時間の決定

今後の議論

- VERA共同利用
 - 時間
 - 観測バンド 6.7GHzは？
- 大学連携VLBI(国内VLBI)の共同利用
- データ共同利用
 - 現状は、観測後18か月でアーカイブ化
 - 自由に利用可能
- KVNと共同観測に対する共同利用